

図書館だより

目次

お大事に	——坂本 清恵	1
著作紹介		
川端有子著『写真家 ジュリア・マーガレット・キャメロン』—ヴィクトリア朝の女性写真家を追って—	——川端 有子	2
著作紹介 大沼義彦・甲斐健人編著『サッカーのある風景』	——大沼 義彦	3
ケルムスコット・プレス版ウィリアム・モリス『聖処女マリア讃歌』	——川端 康雄	4
研究活動をしてくれた図書館	——齋藤 綾	6
大学生の今だからこそ味わえる図書館の価値	——千野 彩佳	6
☆最新☆日本女子大学図書館利用案内	——中澤 恵子	7
OPAC で検索できる電子書籍	——南木 香織	8
図書館2階低書架新書コーナー	——南木 香織	8



ワシントン大学スザロ図書館

お大事に

坂本 清恵

春は別れと出会いの季節、送ることば、迎えることばが、たくさん飛び交います。卒業する人、入学する人、それぞれ恩師や先輩、後輩、友人や家族から、心に残ることばを受け取られたことと思います。

私たちは日ごろから、さまざまな挨拶を交わしますが、そのことばも、時代や地域によって異なります。身近な挨拶のことばは、「おはよう」「こんにちは」「こんばんは」ですが、この違いは、挨拶を交わす時間の差ではないようです。「おはよう」は朝に限らず、その日初めて会う人に対して使う場合もありますが、家族間でも使うところが、「こんにちは」「こんばんは」と異なります。学生同士、その日初めてあったとき、親しい友人には「こんにちは」ではなく「おはよう」が使われ、「こんにちは」と声を掛けられると「内の関係」にはない、親しい間柄とは思われていないと認識されるようです。もっとも、かつては「おはよう」も、個室をもたずに寝起きを共にし、物音から起きたと察することのできる家族の間では、使用されなかったのだそうです。このような挨拶は「外の関係」で交わされるものといえます。近年、その日の最初に交わす挨拶に、「お疲れさま」が加わったようです。アルバイトのシフトに入るとき、それまで働いていた人にかけるねぎらいのことばが流用されたらしく、いきなり「お疲れ様です」で始まるメールが届くこともあります。

10年ほど前、アメリカ合衆国シアトルにあるワシントン大学から招聘を受け、2か月ほど滞在しました。明日は帰国というお別れパーティーのあと、先生方から口々に「お大事に」とことばを掛けられました。日本では、旅立つ人に対して「お大事に」はあまり使われないので、戸惑いましたが、別れの挨拶に使う take care を日本語に訳している、あるいは日本までの長旅に「身体をお大事に」という意味を込めてくださったのだろうと解しました。ところが、これはどうやら、日本でも昭和の時代にはよく用いられた帰る人に掛ける別れのことばだったようです。1962年に公開された小津安二郎監督の映画「秋刀魚の味」の中でも使われていました。「お大事に」はアメリカにおいて、日本文学を研究する先生のあいだで大切に使われてきたことばなのかもしれません。

人々が新しい環境に移るこの季節、豊かで楽しい人間関係を築くことが望まれますが、それには積極的にことばを掛け合うことが大切です。まずは周りの人たちに、親しみを込めた挨拶のことばを掛けてみてください。

(図書館長・日本文学科教授)

著作紹介

川端有子著『写真家 ジュリア・マーガレット・キャメロン』—ヴィクトリア朝の女性写真家を追って—

川端 有子

イギリスの南部に位置するワイト島、ヴィクトリア朝の有名な保養地であった美しいこの地を訪れた時、フレッシュウォーター村のデインボラ・ロッジにまで足を延ばした。これは19世紀の女性写真家ジュリア・マーガレット・キャメロンの館で、今は記念館として一般公開され、写真作品はもちろん、愛用のカメラなども展示されている。

インドのコルカタ生まれのキャメロンは、作家ヴァージニア・ウルフの大叔母であり、ウルフの戯曲『フレッシュウォーター』に夫婦ともども戯画化されて登場している。彼女の写真も何枚かは見たことがあった。しかしここで初めて、私は彼女が、6人の子育てを終えてから48歳で、娘から贈られたカメラを手にし、写真を撮り始めたこと、それからわずか12年の間に、個展を開き、国際的な展覧会で賞を獲得し、写真を芸術にまで高めるまでのキャリアを積み、プロの写真家になったということを知った。展示された数多くの写真は、特徴的なソフトフォーカスで表現され、美しい女性や著名人の肖像であったり、天使のような子どもだったり、テニソンの詩、シェイクスピアの戯曲に寄せた挿絵のような作品であったりして、その背後に物語の存在を感じさせた。

この人のことをもっと知りたい、そしてその生涯について書いてみたいという願いは、2019年に『写真家ジュリア・マーガレット・キャメロン』（玉川大学出版部）としてかなえることができた。だが、そこに至るまでには本当に多くのことを学ぶことになった。というのも、彼女はヴィクトリア朝中期の重要人物たちと非常に広い交友関係を持っていたからだ。チャールズ・ダーウィンの肖像写真で今に知られているのはキャメロンが撮影したものだし、カーライルやテニソンの顔も、彼女の写真で知られている。

登場したばかりの媒体であるカメラと写真の歴史も興味深いことばかりだった。当時の手法は湿版コロディオン方式と呼ばれ、露光に時間がかかるうえ撮影したらすぐに暗室で現像しなければならぬ。彼女は自宅の小屋を改造した暗室に閉じこもり、一日がかりで写真を仕上げた。写真創設期のこの時代、写真と絵画の役割とは何なのか、そしてさらに芸術とは何か、美と信仰とはどう関わるのか、そして何よりも「プロ」であることとはどういうことか、彼女が問い続けた問題が浮かび上がる。

また、アッパーミドル階級の女性としては、そうとう変わり者であつたらしいキャメロンには、ユニークなエピソードも豊富で、詩人テニソンの追っかけをやっていたり、思い立ったら誰にも相談せずに引っ越しを決めてしまったり、話題に事欠かない。キャメロン家はセイロン島に所有していたコーヒー農園が収入源だったが、病害でその道を絶たれ、経済的な困窮が一家を襲った。思い立ったキャメロンが、写真を作品として売ってお金にしようとしたというのも驚きであった。もっとも本当に危機を脱したのは借金のおかげだったようだが。

その後、60歳になった夫がセイロンに隠遁するというのに従って海を渡り、キャメロンはそこでぱったりと写真をやめてしまう。没したのもここである。彼女の生涯を追っかけて、私はインドとイギリスの植民地関係をもおさらいすることになった。

2015年には、東京の三菱一号館美術館で「From Life - 写真に生命を吹き込んだ女性—ジュリア・マーガレット・キャメロン展」が開催されたが、日本での著名度はあまり高くはない。彼女の突拍子もない性格と、幻想的な写真と、波乱万丈な生涯は、女性のキャリアを考えるうえでも魅力的で、もっと知られてほしい存在である。

(児童学科教授)



著作紹介

大沼義彦・甲斐健人編著『サッカーのある風景』

大沼 義彦

2022年サッカーW杯カタール大会は、アルゼンチンの優勝で幕を閉じました。本書は、20年前、2002年日韓サッカーW杯の「後」の地域社会（新潟）に焦点を当てたものです。実はサッカーやW杯から世界や文化、社会を論じる研究は、本学の先生方の手によってもなされています。例えば、北村暁夫著『ナボリのマラドーナ』（山川出版社、2005年）、川端康雄著『ジョージ・ベストがいた』（平凡社、2010年）、川端康雄ほか編『愛と戦いのイギリス文化史1951-2010年』（慶應義塾大学出版会、2011年）などがあります。本書は、サッカーのある風景がいかに開発されてきたのかを、歴史的研究所というよりは、かなり具象のレベルで論じたものとなります。

問いは二つあります。一つは、なぜその場所にスタジアムが建設されたのかです。以前、1972年札幌冬季五輪の開催経費について調べたことがありました。データを見ていて驚いたのは、競技施設建設費が全五輪経費の4.4%ほどしかないことでした。残りの95.6%は、関連経費（選手村や会議場他の付帯施設建設、道路整備等）に充てられていました。なぜそうなるのか。考えられるのは、競技施設の配置によって都市開発区域が規定されていた（あるいは逆かもしれません）ことでした。

新潟では、2002年サッカーW杯を機に新スタジアムが建設されました。場所は、市中心部にほど近い鳥屋野潟です。この地は、宅地開発と農業利用、環境保護の間で長く議論が戦わされていた場所でした。この空間を（誰が）どのように利用するのが問われていたわけです。その中で2002年サッカーW杯開催が持ち上がりました。そして結果的に合意されたのが、鳥屋野潟周辺を新スタジアムを含む運動公園として整備するという案でした。スポーツによる合意の調達。なぜそこにスポーツ施設が建設されたのかを考えると、人々の合意形成や葛藤を含む政治過程が見えてきます。

新潟ではスタジアムができるのと前後して、プロサッカークラブが結成され、選手の育成も始まります。二つ目の問いは、サッカークラブが誕生した後どのようなスポーツや社会関係の再編が起こるのかです。興味深いことに新潟ではサッカー専門学校が設立され、多くの若者がそこに通っていました。またアルビレックス新潟は、シンガポールにもチームを持ち、選手の中にはそこで試合経験を積む者もいました。新潟は、サッカー関連の人材育成と選手のグローバルな社会「移動」を観察することができる地点でもありました。

サッカー専門学校は、アルビレックス新潟のクラブハウスと共に聖籠町（1963年新産業都市に指定）に立地しています。それは、サッカービジネスの「需要」に応える形で設立されました。ただ調査時には十分な安定性を有しているわけではなく、授業内容や専門性、卒業後の進路について模索が続けられている状態でした。専門学校の学生の中には、アルビレックス新潟シンガポールに選手として出る（インターンシップ）人もいました。彼らを追いかけているうちに、シンガポールリーグには他にも日本人選手が在籍していること、元プロサッカー選手が現地でサッカースクールを運営しながら、東南アジアのサッカーリーグを目指す日本人選手の相談や受け入れを行っていることが視野に入ってきました。ここに暮らす人々の姿からは、プロサッカー選手としての生活、日本人コミュニティ、現地の人々や企業との交流、東南アジアにおけるサッカービジネスの展開とそのネットワークを垣間見ることができました。

本書では、スタジアムという物理的空間の開発を入り口に、グローバルなサッカー選手の移動という社会空間について、目線を下げて論じました。それは肥大化するスポーツのダウン・ストリームを描くことになったのかもしれません。リーグ発足から今年で30年になります。「大好きなサッカー」で生計を立てようとSNSを駆使し海外とつながる選手、彼・彼女らを受け入れる多様なサッカービジネスの展開。正直、調査の中では現実のスピードに自らの理解が追い越されることもありましたが。引き続き、急速に膨らみ変化するサッカーと現代社会を凝視することから見えるものに1ミリでも接近できればと考えています。

（現代社会学科教授）

ケルムスコット・プレス版ウィリアム・モリス『聖処女マリア讃歌』

川端 康雄

ケルムスコット・プレス（以下、KP とも略記する）でモリスが印刷した書物群は、モリス自身の著作、およびモリスの愛読書が主であること、その愛読書のなかに中世の作品が多くふくまれていることはすでに確認したとおりである。その中世本のなかにキリスト教信仰の書がいくつかある。今回取り上げる『聖処女マリア讃歌』はその典型といえよう。なにしろこれは中世のキリスト教典礼用のラテン語詩篇（Psalter）から採られたテキストの翻刻なのである。

モリスは晩年に中世写本を蒐集した。むろん古書への関心は青年期からあり、早くからコレクションを構築していたが、1870年代後半に政治活動に関与した際に中断したうえ、ある程度蔵書を手放している。それが晩年の1890年代に至って、自身の書物愛ということに加えて、KPでの書物制作の実践的モデルという新たな目的も加わって蒐集を再開、古書販売のクオリッチ社やレイトン社から中世写本、揺籃期本ほかの初期印刷本を定期的に購入するだけでなく、サザビーズやクリスティーズの競売会にも通い、自ら欲しい本を競り落としたのだった。その一冊がクオリッチから1893年5月25日に115ポンドで購入し「ノッティングラム詩篇」と名付けて愛蔵した写本である。その1セクションがこの『聖処女マリア讃歌』の底本に用いられることになった。

KP版の書誌データは以下のとおりである。

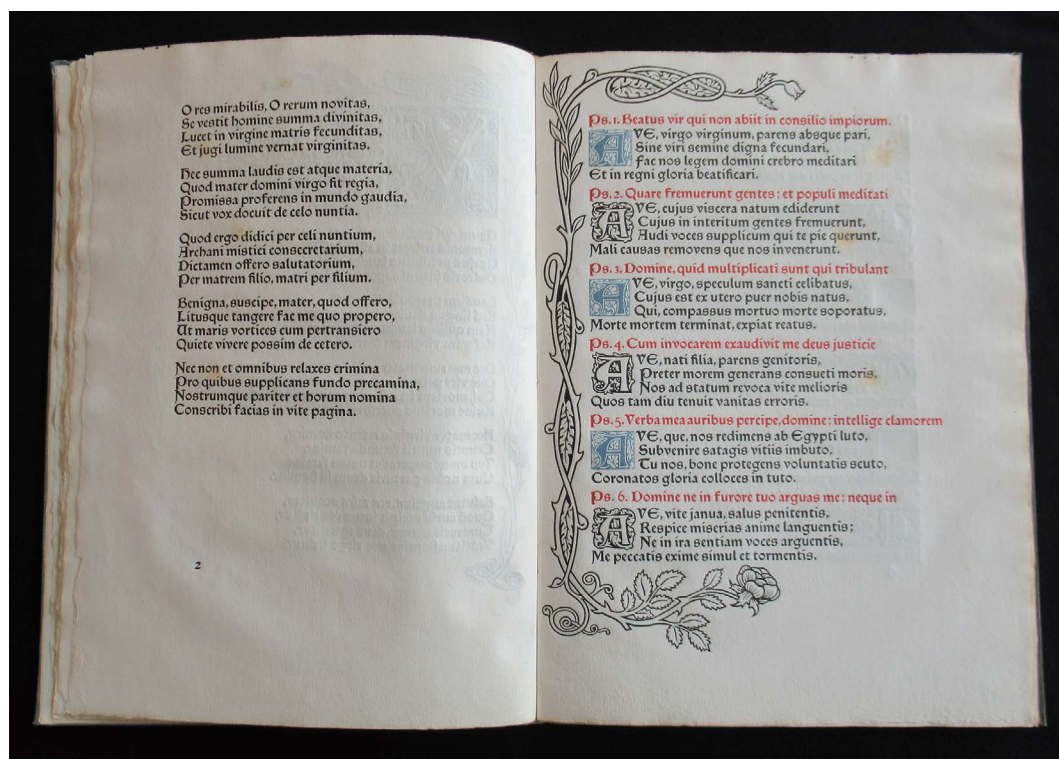
KP 書目第42番『聖処女マリア讃歌』（*Laudes Beatae Mariae Virginis*）大型4折判（290×210mm）、48頁。トロイ・タイプ。黒赤青3色刷。クォーター・ホランド装。紙刷本250部（10シリング）。ヴェラム刷本10部（2ギニー）。コロフォン日付1896年7月7日。KPより1896年8月7日発売。

巻末のコロフォンには「これらの詩の典拠とした詩篇は13世紀初頭、おそらく〔英国〕ミッドランズのいずれかのカウンティ〔郡〕において英国人写字生によって筆写された」と記されている。モリスの秘書をつとめたシドニー・コッカレルによるKP刊本「解題入りリスト」（『ケルムスコット・プレス設立趣意書』KP53、1898年、所収）にはこう記されている。

これはケルムスコット・プレス刊本のなかで最初の3色刷本である。この詩集の底本とした写本は、その書体と装飾の両面からしてモリス氏の所蔵した英国本のなかでもっとも美しい部類に入る。作者不明だが、本書刊行のあと、E. S. デウィック師のご指摘があり、これはすでに1579年にテゲルンゼー〔ドイツ南部の町。聖ベネディクト会修道院がある〕にて16折版で印刷されていて、そこではステューヴン・ラングトン作と書かれているとのこと。この事実を記した覚書が1896年12月28日にチャーサー・タイプで印刷され、購読者に配布された。

底本としたこの詩篇写本は1894年にコブデン＝サンダースンのダヴズ製本所で新たな装丁を施された。モリス没後には他の蔵書と併せて競売にかけられ、アシュバーナム伯爵リチャード・ベネットの所蔵となったが、いまはニューヨークのピアポント・モーガン図書館が所蔵している。その挿絵の画像は以下で見ることができる（<https://www.themorgan.org/manuscript/77022>）。

さて、コッカレルが注記しているように、これはKPで刷った最初の3色刷本であった。旧約聖書の「詩篇」各節冒頭の1行（ウルガタ訳）が150連まで（さらにルカの福音書からも数行）赤で刷られ、それにマリアへの讃歌の4行詩（quatrain）が続く。各連冒頭の装飾頭文字（ほとんどがAの文字）がひとつおきに青と黒で刷られている。図版で掲げた見開き頁の右（3頁）の第一連を例にとるなら、「幸いなり、悪しき輩の謀略（はかりごと）に歩まぬ者は」という旧約「詩篇」第一巻の冒頭の詩行が引かれ、「めでたし、おとめたちのなかのおとめ、比類なき親／男の種なくして子をもうけたまいし尊き女性／われらが主のおしえをつねに思いめぐらし／神の王国の栄光のなかで至福を得られるよう、導きたまえ」というマリアへの祈願を述べた4行詩が記されている。



『聖処女マリア讃歌』（ケルムスコット・プレス、1896年）の見開き2頁（2－3頁）。活字（トロイ・タイプ）、ボーダー、装飾頭文字のデザインはウィリアム・モリスの手になる（所蔵：日本女子大学図書館）

序詞にあたる冒頭1－2頁の「われ讃歌を記さんとの思いを心中に抱く（Mente concipio laudes conscribere）」で始まる11連の4行詩（13世紀英国の神学者でカンタベリー大主教のジョン・ペッカム作とされる）と、最後の30－33頁の「汝、至高の父の至高のひとりごよ」（Summe summi tu patris unice）で始まるイエスとマリアへの讃歌（12世紀の神学者「蜜の流るる博士」ことクレルヴォーのベルナルドゥスの作になる24連の4行詩）に挟まれた160連の4行詩のうち、最後の2連（それぞれDとVで始まる）を除き158連すべてが装飾頭文字Aを青と黒の2種を交互に入れるかたちで版面に組まれている。装飾ボーダーは3点と少なめで、3つのセクションを分ける目印として、1頁、3頁、30頁にそれぞれ異なるデザインの草本文様を配している。

手仕事の復権を主張したモリスとしては、装飾頭文字の場合も木口木版を用いることを原則としていて、この本についても彼自身のデザインをもとにフーパーら彫版師に彫らせたものを使用したと考えていたのだが、なにしろAの2種類の頭文字が併せて150ある（冒頭の語がみな“Ave”なので当然Aばかりになる）。これは写真技師エマリー・ウォーカーの勧めで電鋳版（エレクトロタイプ）を用いて制作された。1830年代に発明されてすぐに出版業界で実用化された電鋳版技法は、19世紀末には凸版印刷での標準的な技法になっていた。モリスは気が進まなかったものの、ウォーカーがオリジナルの木版と電鋳版の2種の頭文字の刷り見本を作ってモリスに見せて、後者でも遜色がないことを説得して使用に至ったのだった。確かにこれを使わなかったら時間がかかり、この本はもちろん、『チャーサー作品集』（KP40）もモリスの生前に刊行できなかったことだろう。

信仰の書ということについて最後に附言するなら、本紙前号で『ジョン・ボールの夢／王の教訓』に関連して述べたように、後半生のモリスは少なくとも表面的には無宗教であった（あるいは、不可知論者であった）のであるが、一般のキリスト教信徒の、とりわけ中世の人びとの信仰心——このマリア讃歌のような祈りの詩句を日々を生き抜く精神的な糧として唱え、歌う人びとの心性——については、深い敬意と共感の念を抱いていたのだと思う。（英文学科教授）

研究活動を支えてくれた図書館

齋藤 綾

大学の図書館は、学修を進めていくためのヒントがたくさんあります。日頃の授業においても、学期末レポートの作成や報告資料の作成時には、ほとんどの人が利用することになると思います。

私が本学の図書館を利用してきた中で、特に印象的だったのが学部4年生です。卒業論文を執筆するこの年、新型コロナウイルス感染拡大により、図書館を利用する機会が大幅に減ってしまいました。研究も思うように進められませんでした。入構が許された時には、できる限り図書館に通い、本を閲覧しながら地道に史料収集を行いました。そんな日々が続いた時、「研究活動をする上で、図書館は本当に欠かせない場所なんだ」と図書館の大切さを実感し、その時の印象が今でも心に残っています。執筆作業もほとんど図書館で行っていたこともあり、私の卒業論文はこの図書館で生まれたといっても過言ではありません。その後、本学大学院に進学してからは、より一層図書館の利用が増えました。私は学部生の頃から、一階学修スペース、コピー機近くの閲覧席がいつの間にか定位置になっており、ほとんどその席で作業をしています。机も広く、とても明るい場所のため、研究も捗ります。また、地下一階にある本を手を取る際は気分転換もかねて、階段をよく往復していました。ずっと座っていると疲れてしまうので、定期的に身体を動かし、集中力を保たせていました。

ところで、図書館にはラーニング・サポーターが滞在しています。レポートの書き方や履修登録などの学修に関する相談をはじめ、様々な質問に対応してくれます。何か困ったことがあった際は、先輩に相談してみることもおすすめです。必ず皆さんに寄り添いながら、一緒に悩み、一緒に考え、きっと新たな解決方法を教えてくれるはずです。

図書館は皆さんの学修を支えてくれる、とても温かい場所だと思います。ぜひたくさん利用して、充実した学生生活を送ってください。（ラーニング・サポーター 史学専攻博士課程前期2年）

先輩からひとこと★先輩からひとこと★先輩からひとこと★先輩からひとこと★先輩からひとこと★先輩からひとこと★先輩からひとこと★先輩からひとこと★先輩からひとこと★

大学生の今だからこそ味わえる図書館の価値

千野 彩佳

皆さんは大学図書館と聞いて何を思い浮かべるでしょうか？私が考える図書館の価値について、「環境」「活用の仕方」の2つの面からお伝えします。

まず、「環境」の面では、「膨大な知識が積み重なる、静かで特別な空間」にあると思います。ただ書架に立って、静かに本に囲まれる空間にいただけで、先人たちの知識と対峙している感覚で心が落ち着きます。本を借りなくても、勉強できるスペースや、窓際だと景色がきれいなところもあります。音やBGMがなく、純粹に読書や勉強に集中できる場所はとても貴重だと思っています。私は、特に朝、誰もいない空間を自分だけが使っている気がして、贅沢な気分になります。皆さんも図書館の中で自分のお気に入りの場所を見つけてみてください。

2つ目は「活用の仕方」ですが、「偶然の出会いからの世界の広がりがあること」です。今の時代、検索すれば、短時間で、効率的に情報を得られるようになりました。しかし、図書館で目的の本がある書架に行くことで、他の本にも出会えるのです。目的の本の隣に、関連することが載っているかもしれないし、知りたいことの答えを直接得られずとも、自分の世界が広がることは確かです。私も、レポートや研究で煮詰まって図書館に行き、何気なく取った本がとてもよかった経験がありました。一見無駄に見える回り道や、直接関係がないと思うことも、全てがつながって学びになると思っています。このように、切羽詰まらず色々な可能性を模索して自分のために自分がしたい勉強を思う存分できるのは、時間に余裕のある大学生にしかできないことだと思います。大学での学びのために、図書館はとても良い場所だと思っています。

図書館の使い方や学生生活で何か困ったことがあれば、図書館の入り口の奥にいるラーニング・サポーターに、気軽に相談もできます。大学生活での学びを、豊かなものにするように、一緒に考えていきましょう。（ラーニング・サポーター 家政学研究科 食物・栄養学専攻修士課程2年）

★最新★日本女子大学図書館利用案内

本学の学生・教職員・卒業生など利用資格をお持ちの方は当館を利用できます。ただし、現在は新型コロナウイルス感染症への対応のため本学の学生・教職員及び卒業生（事前申込制）対象の限定開館を実施中です。最新情報は当館ホームページに掲載するので随時ご参照ください。

日本女子大学図書館ホームページ URL

< Web サイト > <https://lib.jwu.ac.jp/>

< モバイルサイト（スマートフォン対応） >

App Store、Google Play ストアから「Ufinity」と検索してアプリを入手できます。

「Ufinity」の中から「日本女子大学図書館」を選択設定してください。

日本女子大学図書館 Twitter URL https://twitter.com/JWU_Library



初めて当館を利用する方は正面玄関の上をご覧ください。「VERITAS VIA VITAE」というラテン語の標語が掲げられています。この標語の経緯は是非調べてみてください。

次に2階カウンターで学生証・教職員証をご提示ください。1～3年生には学生証のバーコードを図書館システムに登録し、それ以外の方には利用カードを交付します。学生証及び利用カードは本人のみ有効です。



当館は開架式です。資料は、和書、洋書、雑誌、参考図書、大型本など、その性質や形態によってまとめて配置されています。書名、著者名、キーワードなどが分かっている時は、当館ホームページのOPAC（Online Public Access Catalog：オンライン目録）で本学の蔵書を検索し、配置場所と請求記号を調べましょう。配置場所が西生田保存書庫の資料は図書館へ取り寄せ

て利用できます。

貸出には図書と登録済学生証または利用カードを2階カウンターへ持参し、必ず本人が手続きしてください。図書を延滞すると延滞中及び延滞日数分貸出停止になるので注意してください。

当館ホームページから My JWULIS（Japan Women's University Library Information System）も活用しましょう。利用状況の確認、貸出更新、OPAC の検索結果から予約（貸出中国書予約、保存書庫保管図書取り寄せ）、検索結果・検索式の保存を行うことができます。

資料の検索方法がわからない、必要な資料が見つからないという時は、2階カウンターの隣にある参考係に相談してください。皆さんの必要とする文献や情報を探し出すサポートをします。

館内には、学術情報検索専用 OPAC 端末と、学術情報検索に加えて Word、Excel、PowerPoint や Office365 を利用できる JASMINE 端末があります。JASMINE 端末には貸出ノートパソコン（館内限定）もあります。全フロア jwu-wifi 利用可です。

最後に、当館は学習院大学図書館、お茶の水女子大学附属図書館、跡見学園女子大学図書館と図書館相互利用協定を締結しています。詳細は当館及び各大学図書館ホームページをご覧ください。

（館員・閲覧・西生田保存書庫係 中澤恵子）

OPAC で検索できる電子書籍

OPAC では、本学が所蔵している資料を検索することができますが、電子ブックも検索できることはご存じですか？ 検索結果に“電子ブック”の表示があれば、書誌詳細の“リンク”をクリックすることで、その場で図書を読むことができます。図書館で館外に貸出できない参考図書も含まれていますので、是非ご利用ください。

書誌検索結果一覧 1件～6件 (全6件) 印刷

1 ☐ 図書 **大学生学びのハンドブック：勉強法がよくわかる！**
世界思想社編集部編。-- 改訂版。-- 世界思想社, 2011.

2 ☐ 図書 **大学生学びのハンドブック：勉強法がよくわかる！**
世界思想社編集部編。-- 3訂版。-- 世界思想社, 2015.

3 ☐ 図書 **大学生学びのハンドブック：勉強法がよくわかる！**
世界思想社編集部編。-- 4訂版。-- 世界思想社, 2018.

4 ☐ 図書 **大学生学びのハンドブック：勉強法がよくわかる！**
世界思想社編集部編。-- 5訂版。-- 世界思想社, 2021.

5 ☒ 電子ブック **大学生学びのハンドブック：勉強法がよくわかる！**
世界思想社編集部編。-- electronic bk. -- 4訂版。-- 世界思想社, 2021.

6 ☒ 電子ブック **大学生学びのハンドブック：勉強法がよくわかる！**
世界思想社編集部編。-- electronic bk. -- 5訂版。-- 世界思想社, 2021.

大学生学びのハンドブック：勉強法がよくわかる！
電子ブック
世界思想社編集部編。-- electronic bk. -- 5訂版。-- 世界思想社, 2021. w. <EB00001149>

便利機能: ☐ ブックマーク ☐ 出力 ☐ メール ☐ 文献管理

▶ 詳細情報を見る

書誌詳細

リンク(IDENT) <https://elib.maruzen.co.jp/elib/html/BookDetail/id/3000101408>

特定資料種別コード リモートファイル

権題および責任表示 大学生学びのハンドブック：勉強法がよくわかる！ / 世界思想社編集部編
ダイカクセイ マナビ ノ ハンドブック：ペンキヨウホウ カ ヨク ワカル
2021. w.

(館員・南木香織)



図書館 2 階低書架新書コーナー

2 階カウンター前の低書架には、最新 2 年分の新書がまとめて置かれている場所があります。「新書」は出版形式の一つで、B6 判よりやや細身の判型（新書判）です。

様々な分野の入門書として刊行されることが多く、政治や経済、学問、教養、社会問題、話題のトピックなどが取り上げられ、ちょっと気になる分野に触れるきっかけには、ピッタリです。小説とは違った楽しさがあります。

背のタイトルを眺めているだけでも、“今”を反映していて、楽しいですよ。

何よりカバンに入れても嵩張らないサイズです。是非お立ち寄りください。(館員・南木香織)



編集後記 立春をすぎると、旧図書館の脇に紅梅が咲いていたのを思いだす。樹下の名札はブンゴウメ。目にするたびに枕草子の一節を思い起こさせるほど、鮮やかに咲いていた。今はもうない。正門近くに残る白梅は、今年も清楚な花を咲かせている。 2022年度編集委員：飯山智子、水嶋寿恵、南木香織 (飯山)